

昭和村

義務教育学校施設整備

基本構想

(案)

- 目 次 -

1 はじめに	3
(1) 昭和村の現状（背景）	
(2) 昭和村の教育行政が抱える主要課題	
2 昭和村における小中一貫教育の推進と最適な学校のあり方	4
(1) 義務教育学校の選択とその理由	
(2) 小中一貫教育が必要とされる背景	
3 義務教育学校の主な特徴	5
(1) 9年間を見通した一貫性のある教育課程の編成	
(2) 子どもの発達段階に合わせた学年区切り（教育課程の編成）	
(3) 9年間を通じた資質・能力・態度の育成	
(4) 小学校・中学校教員の専門性を活かした教科担任制の導入	
(5) 9年間の中で学習内容や時間を柔軟に調整	
(6) 特別支援教育の充実（学びの連続性を活かす）	
(7) 望ましい生徒指導の充実（成長の連続性を活かす）	
4 昭和村内の児童生徒数の現状と 2032 年度（令和 14 年度）の見込み	6
5 昭和村義務教育学校の想定規模と教職員数	6
6 昭和村が目指す義務教育学校	7
(1) 基本理念と目指す子ども像	
(2) 教育目標（育む資質・能力・態度）	
(3) 教育課程編成の基本的な考え方（学年区切り 4-3-2 制とそのねらい）	
(4) 昭和村義務教育学校の全体構想（グラウンドデザイン）	
7 通学手段について	10
(1) スクールバスの費用	
(2) スクールバスの利用条件	
(3) スクールバス運行ルート	
(4) スクールバス運行時間帯(下校時)	
(5) バスルートの変更について（回り順）	
(6) 自転車通学について	
8 施設設備の方針	11
(1) 健やかで創造的な学びの場、生活空間の実現に向けた施設設備	
(2) 安全・安心な施設設備の確保	
(3) 地域や社会と連携・協働し、ともに学びを創造する共創空間の実現	
(4) 環境に配慮した設計	

9 選定した建設候補地案、選定基準、協議の経緯	12
(1) 選定した建設候補地案：「鎌沢案」	
(2) 候補地の選定基準	
ア 法令・基準の遵守（候補地の面積）	
イ 安全性	
ウ 教育環境	
エ 利便性	
オ 地域との近接性	
カ 用地（取得、法令制限、ライフライン）および建設・運営コスト	
キ 村づくりの視点	
(3) 推進協議会等学校制度・建設候補地案選定の経過	
10 概算工事費	15
(1) 建設事業費の試算	
(2) 財源の検討（学校建設の費用をまかなう方法）	
11 建設スケジュール	16

1 はじめに

(1) 昭和村の現状（背景）

人口減少の急速な進行やデジタル化の進展など、社会情勢が大きく変化し、住民の皆さまのニーズも多様化しています。村では、こうした変化に対応し、将来にわたって持続可能な昭和村を築いていくため、新たな村づくりの指針として「昭和村第6次総合計画（前期基本計画）」と「昭和村第3期総合戦略」を一体的に策定しました。この中で、教育行政においては特に以下の点が注目されています。

- 1 村の概要：人口減少の加速（若い世代や働く世代の減少、高齢化の進行）
- 2 村の強み：美しい自然と景観、おいしい農産物と農業、東京圏等に近い立地、文化遺産、子育て環境、国内外の都市・企業との交流や連携、郷土愛の強い住民性
- 3 考慮すべき社会情勢：人口減少・高齢化、安全・安心意識、脱炭素社会、デジタル化、地方産業の活力、共生・多様性社会、地方の自立と住民参加・協働、SDGs
- 4 住民ニーズ（今後どのような村にしたいか）：第1位 子育て・教育の村、同1位 健康福祉の村、第3位 快適住環境の村、第4位 農業の村
- 5 村づくりの課題：「人口減少を抑え、活気ある昭和村へ（住民が住み続けたい、戻ってきたい、子育てをしたいと思う村、村外から移り住みたいと思われる村づくり）」。「特色ある教育行政の推進：小中学校の統合や、未来を担う人材を育むための学校教育環境の充実、住民の主体的な学習・文化・スポーツ活動の活発化」

（下線は教育委員会による加筆）

(2) 昭和村の教育行政が抱える主要課題

昭和村では、少子化と人口減少の進行により、村内の小・中学校が複数の深刻な課題に直面しています。そこで、「学校の在り方検討委員会」及び「小学校の統合に向けた検討委員会」において、以下の課題をもとに学校統合が協議され、「昭和村の小学校3校を統合して1校とし、新しい場所に中学校と一体となった校舎を建設し、郷土愛を育む小中一貫校を創設する」ことが村長に提言されました。

課題1 すべての子どもたちが等しく豊かに学べる環境

児童生徒数の減少に伴い学校の規模が小さくなると、意見の多様性が失われ、互いに刺激し合い切磋琢磨する機会が乏しくなります。また、開設できる授業の種類や配置教員数にも制約が生じ、教育内容や指導体制の充実が難しくなります。すべての子どもたちが等しく豊かに学べる環境を確保することは、喫緊の最重要課題です。

課題2 小学校から中学校への学びの連続性

小学校と中学校が独立して運営されているため、教員間の連携や指導方針の一貫性が十分に図られないと、進学時にいわゆる「中1ギャップ」が生じやすいため、義務教育9年間を通じた学びの連続性・系統性の確保が急務となっています。

課題3 学校施設の老朽化と効率的な維持管理

小学校2校、中学校1校が大規模改修時期を迎え、施設の個別維持・更新は村の大きな財政負担となっています。また、現代の教育に必要な施設・設備を各校に整備することは非効率であり、集約と重点的な整備が不可欠です。

これらの課題は、少子化・人口減少という現実の中で、現行の学校運営を維持するだけでは解決できません。学校統合は、単に学校数を減らすことではなく、上記の課題を一体的に解決し、昭和村の子どもたちに質の高い教育と豊かな学びの場を提供するための、村の未来に向けた前向きな選択であると考えます。

2 昭和村における小中一貫教育の推進と最適な学校のあり方

(1) 義務教育学校の選択とその理由

昭和村が掲げる「子育て・教育の村の実現」「小中学校の統合による未来を担う人材の育成」「郷土愛の醸成」「共生・多様性社会の実現」「地方の自立と住民参加・協働の推進」といった目標を達成するためには、地域、保護者、子どもたち、そして学校が「昭和村が目指す子ども像」を共有し、協力しながら9年間一貫して子どもたちを育てていく「小中一貫教育」が最も重要であると考えます。この考えをもとに、推進協議会では、昭和村にとって最適な学校のあり方について、視察を交えながら何度も話し合いを重ねました。その結果、以下の利点から、協議会として「義務教育学校が適切である」と判断しました。

- ① 小学校から中学校への移行期におけるスムーズな接続
- ② 5年生からの積極的な教科担任制による教育効果
- ③ 子どもの発達段階に合わせた学年区切りによる教育効果
- ④ 自ら学び続ける力を育むために必要な長期的な視点での教育効果
- ⑤ 多様な社会性を育む機会の創出効果
- ⑥ 村の総合計画との整合性

その後開催した地域説明会では、村民の皆様にもご理解を深めていただきました。義務教育学校の理念と目標をより良い形で実現するため、子どもたち、保護者、地域住民、教育関係者の皆様とともに、地域と連携した学校づくりを進め、小中一貫教育を通じて子どもたちの生きる力を育んでいきたいと考えています。

(2) 小中一貫教育が必要とされる背景

☐ 中学校間の接続期における学習指導や生徒指導の違いへの対応（いわゆる「中1ギャップ」の解消）

小学校の学級担任制指導から中学校の教科担任制指導への変化、小学校と中学校の教員間での情報交換や連携の不足、小学校と中学校での生徒指導の内容や方法の違いなど、小学校から中学校への移行期における違いが、子どもの学校生活への不適応や学力不振の一因となるケースが多く見られます。

☐ 子どもの身体的発達の早期化と、いじめ問題への対応

子どもの身体的な発達は、昭和20年代と比較して2～3年早まっているため、発達段階に応じた教育課程の編成が必要です。いじめ件数は小学校4年生・5年生で増加し、中学校1年生でも再び増加する傾向があります。この身体的発達の早期化や不登校の兆候、いじめの波に注意し、適切に対応していく必要があります。

☐ これからの子どもたちに求められる力の育成と、教育内容の増加への対応

主体的に行動し、自ら学び続ける子どもの育成は、一時的な指導だけでは難しく、一貫した継続的な指導・支援があってこそ達成できる力です。

☐ 学校での社会性育成の必要性の増加と、それへの対応

社会生活の多様化や地域との関係性の希薄化が進む中、人と地域とのつながりを育むためには、異なる学年の子ども同士や、多くの大人（教職員や地域住民）との交流が不可欠です。

☐ 小学校の授業時間数の増加と、より専門的な教育の必要性の増加

2008年には小学校の授業時間数が1割増加し、2020年には小学校で「外国語」が教科として導入され、理数教育の重要性も増しています。こうした状況から、教科担任制や教員の専門性を活かした指導の必要性が高まっています。）

3 義務教育学校の主な特徴

義務教育学校は、小学校と中学校が一体となった一つの学校です。校長は1人、教職員の組織も小学校・中学校の隔たりなく共通です。この制度では、9年間を見通した計画的で一貫性のある教育環境を整え、従来の「6-3制」ではなく、子どもたちの発達段階に合わせた学年区切りを行います。前述の「2－(2) 小中一貫教育が必要とされる背景」における教育上の課題を解決し、より高い教育効果を目指せる学校です。

(1) 9年間を見通した一貫性のある教育課程の編成

小学校1年生から中学校3年生までの9年間、一貫した教育課程を編成します。子どもたちは、多くの教職員から継続的で一貫性のある支援と指導を受けることで、学びの質を向上させることができます。

(2) 子どもの発達段階に合わせた学年区切り（教育課程の編成）

昭和村の義務教育学校では、学年の区切りとして「4-3-2制」を提案します。

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

① 小学校から中学校への移行期の不適応（中1ギャップ）を軽減

4-3-2制：現在の児童の発達段階により配慮でき、効果的な教育課程を組むことができます。例えば、5・6・7年を一つの区切りに組み入れることで、従来の小中移行期の不適応(中1ギャップ)を軽減でき円滑な移行の可能性を高めることができます。

② 新たなリーダーシップやフォロワーシップの育成（社会性育成の必要性への対応）

1年生から9年生まで、様々なねらいに基づいた異学年交流を実施することで、学力以外の要素（非認知能力）を育む多様な機会を創出し、社会性や精神面の発達効果が期待されます。《非認知能力とは、自己肯定感・効力感、協働性、共感性、主体性、学びに向かう力、人間性、レジリエンス（立ち直る力）、リーダーシップ・フォロワーシップ（自ら考えて協力する力）などです。》

(3) 9年間を通じた資質・能力・態度の育成

これからの子どもたちが身につけるべき「自ら考え行動する学習者」としての力（対話的・主体的で深い学びを追求する力や姿勢）、子どもたち自身が「授業する・していく力」、非認知能力、自己肯定感・効力感、郷土愛、そして未来を担う人材としての資質・能力・態度などは、計画的かつ系統的に積み重ねていくことで効果的に育成できます。

(4) 小学校・中学校教員の専門性を活かした教科担任制の導入

小学校5・6年生から、小中学校の教員の専門性を活かした教科担任制を導入し、学力向上を目指します。これにより、従来の小学校から中学校への移行期をよりスムーズにつなぐ効果も期待できます。

(5) 9年間の中で学習内容や時間を柔軟に調整

9年間の教育計画の中で、子どもたちが理解しにくい内容については指導時間を増やすなど、実態に応じた指導を行いやすくなり、確かな学力の育成につながります。

(6) 特別支援教育の充実（学びの連続性を活かす）

支援計画や実践記録、評価を、一つの学校内で9年間を通して確実に次の学年へと引き継ぐことができます。また、小中学校すべての教職員が対象となる子どもたちの成長を共有しているため、進級時にも途切れることのない支援や指導の充実が図られ、子どもたち一人ひとりの自己実現をサポートできます。

(7) 望ましい生徒指導の充実（成長の連続性を活かす）

一つの学校組織であるため、小中学校の教員間で情報共有がしやすく、子どもたちの特性や良い点、課題に応じた、発達段階に配慮した効果的な生徒指導を継続して行うことができます。

4 昭和村内の児童生徒数の現状と 2032 年度（令和 14 年度）の見込み

（2026 年 6 月 23 日現在試算）

1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	7 年生	8 年生	9 年生	（1 年生～9 年生で表記）
24	35	33	31	37	31	44	53	45	学年別全校児童生徒数
0	1	0	1	0	0	3	1	0	知的障害児童生徒在籍予測数 （小学部 1 学級、中学部 1 学級）
1	1	1	0	1	0	1	1	0	自閉症・情緒障害児童生徒在籍予測数 （小学部 1 学級、中学部 1 学級）
23	32	32	30	36	31	40	51	45	通常学級児童生徒予想数
1	2	1	1	2	1	2	2	2	学年別通常の学級の予想数： 小学校 8 学級、中学校 6 学級
小学部全体の児童数：191 人						中学部全体の生徒数：142 人		小中学部全体の児童生徒数：333 人	

* 学級編成規則：1・2 年生は 30 人につき 1 学級、その他は 35 人につき 1 学級編成です。

* 特支在籍予測：特別支援の必要な児童生徒は、小学部 6 年生～中学部 9 年生の合計 171 人のうち 3.5%にあたる 6 人を想定しています。同様に、小学部 1 年生～5 年生の合計 159 人のうち 3.5%にあたる 6 人（知的障害 2 人、自閉症・情緒障害 4 人）を想定します。

5 昭和村義務教育学校の想定規模と教職員数

教職員の配置数は、学級数に応じた「配当基準表」に基づいて試算されます。義務教育学校では、小学校と中学校の学級数の合計で教職員が配置されます（特別配置教員を除く）。

2032 年度(令和 14 年度) 想定 昭和村義務教育学校の予想学級数と配置される教職員数

○小学部：通常の学級 8 学級

特別支援学級 2 学級（知的障害 1、自閉症・情緒障害 1）合計 10 学級

教職員：校長 1 名、教頭 1 名、小学校担任 10 名、専科教員 1 名、養護教諭 1 名、事務職員 1 名

○中学部：通常の学級 6 学級

特別支援学級 2 学級（知的障害 1、自閉症・情緒障害 1）合計 8 学級

教職員：校長 1 名、教頭 1 名、教科担任 13 名、養護教諭 1 名

2032 年度(令和 14 年度) 想定 昭和村義務教育学校の予想規模（教職員配置予想）

管理職：校長 1 名、小中学部教頭各 1 名（合計 3 名）

教職員：小学校担任 10 名、専科教員 1 名、中学校教科担任 13 名、副校長配置分を担任として配置 1 名（合計 25 名）

養護教諭 2 名（開校年度）、事務職員 1 名（合計 3 名）

総 計：31 名配置（特別支援学級以外の教員配置を除く）

6 昭和村が目指す義務教育学校

(1) 基本理念と目指す子ども像

『郷土愛にあふれ、次世代を担う、「自律した学習者」の育成』

(2) 教育目標（教育理念の達成に向けて育む資質・能力・態度）

自律：自分の可能性を信じ、自ら考え、判断し、行動できる子どもたち

共生：多様な人々と認め合い、地域や仲間と協力しながら、ともに成長できる子どもたち（インクルーシブな教育の推進）

創造：時代の変化に対応し、新しい価値や考えを生み出すことができる子どもたち

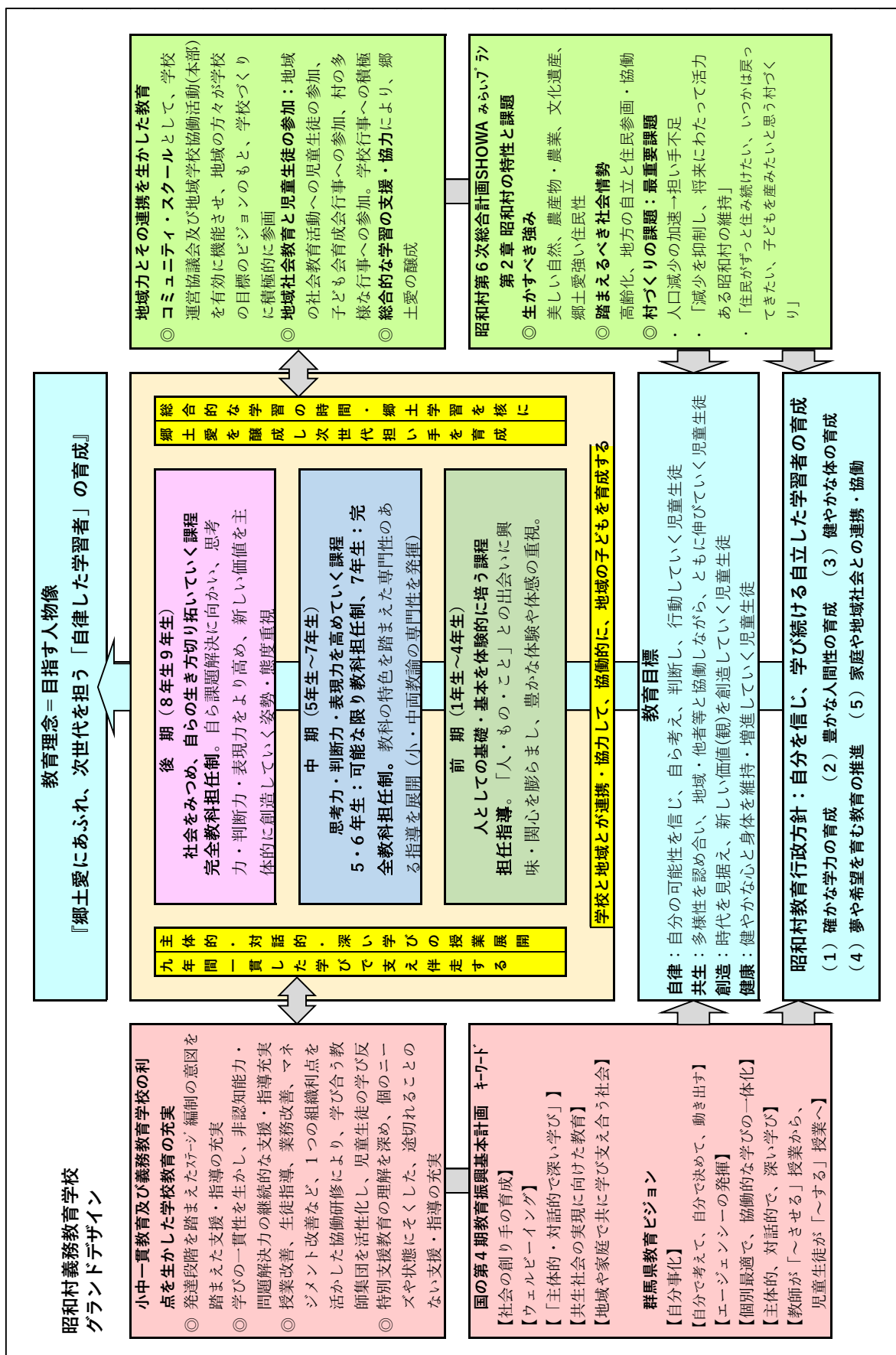
健康：心身ともに健やかで、それを維持・増進できる子どもたち

(3) 教育課程編成の基本的な考え方（学年区切り 4-3-2 制とそのねらい）

区分	前期(45分授業) 1年生～4年生	中期(50分授業) 5年生～7年生	後期(50分授業) 8年生・9年生
課程のねらい	人としての基礎・基本を体験を通じて培う課程	思考力、判断力、表現力を高めていく課程	社会を見つめ、自らの生き方を切り拓いていく課程
自律・創造	・「人・もの・こと」との出会いに興味・関心を広げ、豊かな体験を通して思考力・判断力の基礎を身につけ、臆することなく表現できる児童。	・基礎的な知識・技能を定着させ、学んだことを活かして思考力・判断力を身につけ、自分の考えを主体的に表現できる児童生徒。	・定着した基礎的な知識・技能を活用し、課題解決に向けて思考力・判断力・表現力を高め、新しい価値を主体的に創造していく生徒。
共生・創造	・体験活動を通して、友達と仲良く遊んだり助け合ったりしながら、望ましい人間関係を築ける児童。	・周囲の人々（同じ学年や異なる学年、地域の人々など）の特性（良い点や多様性など）を受け入れ、理解し合い、適切な人間関係を築ける児童生徒。	・自他の幸せを願い、物事を様々な角度から捉え、地域や友人と協働しながら、課題解決を図りながら新たな価値を創造する行動ができる生徒。（インクルーシブな教育の推進）
健康・創造	・基本的な生活習慣と、健康で安全な生活との関係を理解している児童。 ・様々な運動の特性を理解し、積極的に運動に親しめる児童。	・心身の健康のために必要な事柄（ルール、マナーなど）を理解し、積極的に健康で安全な生活を送れる児童生徒。 ・目標に向かって粘り強く運動に取り組める児童生徒。	・生涯にわたる健康のために必要な知識を身につけ、主体的で健康な生活を創造していく生徒。 ・主体的に運動に取り組み、生涯を通じて運動の喜びを味わえる生徒（地域クラブ活動への参加なども含む）。

	・前期（1年生～4年生）：担任による指導を基本とし、体験・体感を重視します。 ・中期（5年生～7年生）：5・6年生から可能な限り教科担任制を導入し、教科の特色を踏まえたより専門性の高い指導を展開します（小中学校両教諭の専門性を発揮）。 ・後期（8年生～9年生）：完全教科担任制を導入し、自ら課題解決に向かい、思考力・判断力・表現力をより高め、新しい価値を主体的に創造していく姿勢・態度を重視します。
特色ある教育	ア 小中一貫教育の良さを活かし、学びの連続性を重視し、一人ひとりに最適な学びと協働的な学びを一体的・系統的に進め、「自ら考え行動する学習者」の姿を実現します。 イ 地域学習とキャリア教育（生活科や総合的な学習の時間における郷土学習など）を融合させた9年間の系統的な指導計画により、昭和村ならではの学びを実践し、郷土愛にあふれる次世代を担う人材を育成します（地域とともに歩む学校、地域を大きな教室と捉える、コミュニティ・スクール、地域学校協働活動など）。 ウ 外国語教育の充実（ALT配置、小学校英語専科制度、米国イーグルポイントとの相互海外交流の充実、英検補助など）。

（４）昭和村義務教育学校の全体構想（グランドデザイン）



7 通学手段等について

小学校 1 年生～6 年生	1. 徒歩 2. スクールバス 3. 自転車通学は認められません
中学校 1 年生～3 年生 (義務教育学校の 7 年生～9 年生)	1. 徒歩 2. スクールバス 3. 自転車

(1) スクールバスの費用

スクールバスは無料で運行します。小学校・中学校両方でスクールバス通学を実施・運営します。

(2) スクールバスの利用条件

- ① 学校から直線距離で 2km 以上離れているすべての児童生徒が対象です。2km 未満の児童は徒歩通学、生徒は徒歩または自転車通学とします。
- ② 上記①の条件に関わらず、安全面、学校の場所、地形、道路や交通状況、行政区のまとまりなどを考慮し、スクールバス利用の可否について個別に検討を行います。

(3) スクールバス運行ルート（目安：11 ルート）

小学校と中学校の児童生徒数や居住地域の状況に合わせて、安全で効率的なルートを検討します。

(4) スクールバス運行時間帯（下校時）

- 登校時：通常便 1 本のみの運行です。
- ◎ 下校時：通常便として、小学校・中学校ともに「早めの便」と「遅めの便」の 2 つの時間帯を用意します。
- ◎ 臨時時間帯便：学校行事などで下校時間が通常と異なる場合は、事前に提出された下校予定に基づいて臨時便を運行します。その際は、通常便のどちらか一方、または両方が運休となる場合があります。

(5) バスルートの変更について（回り順）

基本的に、月ごとにルートの回り順を逆にします。

(6) 自転車通学について

中学生のみ、定められた手続きを経れば、通学距離にかかわらず自転車通学を認めます。

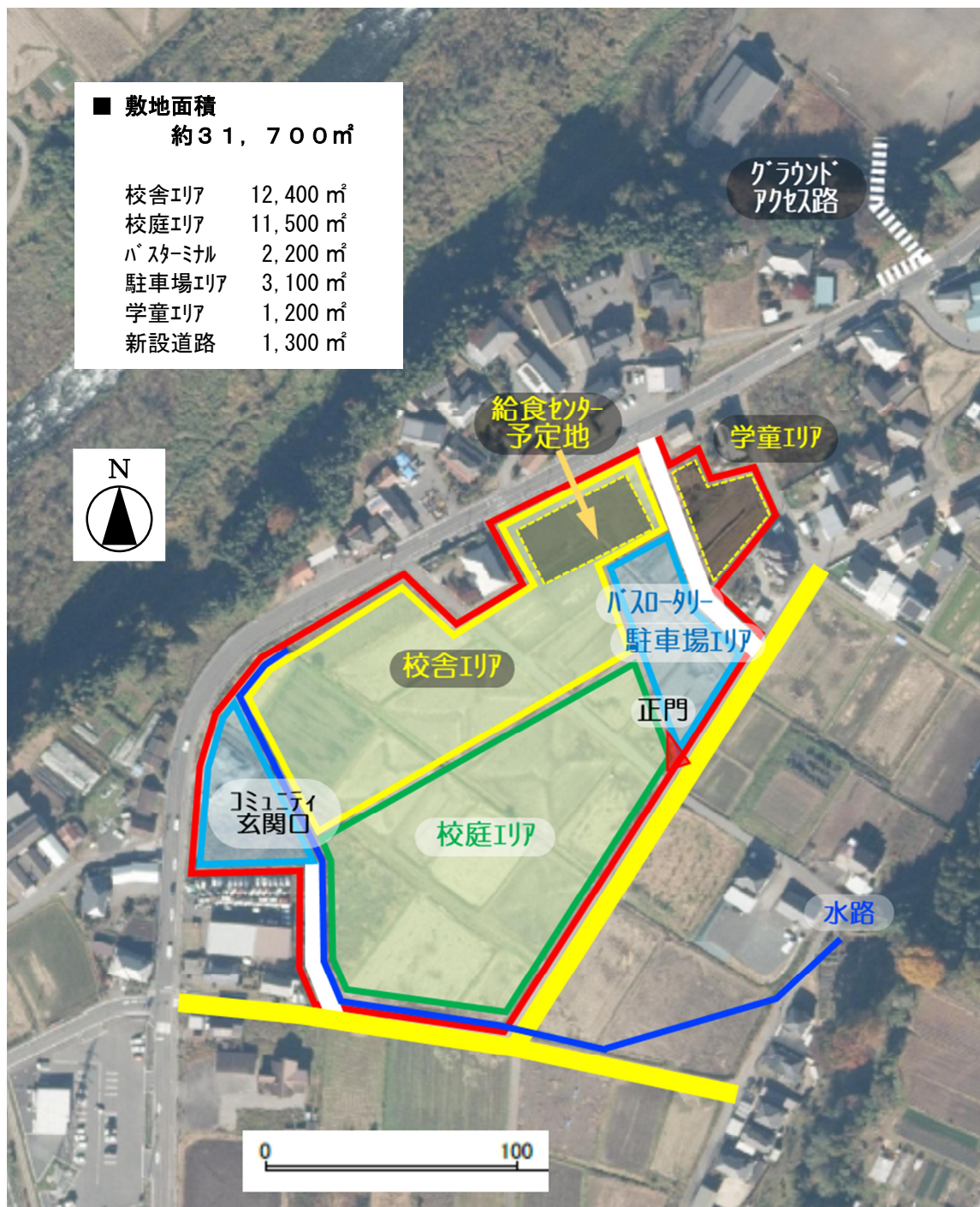
8 施設設備の方針

学校施設は、小学校と中学校が一体となった施設として、義務教育学校の基本理念と目標を実現できる機能を持つものとします。子どもたちや教職員が学年を超えて交流・連携できる空間を考慮するなど、義務教育学校の良さや学年区切りの特徴を最大限に活かせる施設とします。また、地域コミュニティの中心として、住民との協力や施設の積極的な利用を促進できる施設を目指します。

(1) 健やかで創造的な学びの場、生活空間の実現に向けた施設設備	
ア	学年の区切り（例えば4-3-2制）ごとにその効果を高められる施設設備とし、子どもたち自身が学びの段階を通じて成長を感じられる施設設備を目指します。
イ	一人ひとりの学習状況に合わせた柔軟な指導を充実させるため、グループ学習や自由進度学習など、多様な学習方法に柔軟に対応できる施設設備、また、複数の学年による学習活動や成果発表会など、様々な学習形態に対応できる空間を活かした施設設備を目指します。
ウ	自分の学級以外の場所として、放課後の自主学習施設（図書室の機能拡充など）を確保します。
エ	一人一台の学習端末を有効活用できるよう、校内のすべての場所でICT（情報通信技術）の活用が可能な施設環境と通信設備を確保します。
オ	教職員のための第二職員室分室を設置し、子どもたちの見守り（安心・安全）や授業準備などを効率的に行えるようにし、学年区切りの教職員間の連携が日常的に行えることを目指します。
(2) 安全・安心な施設設備の確保	
ア	子どもたちが安心して学習や生活を送れるよう、災害に強い校舎設計を行うとともに、地域住民の避難場所としての役割も担う施設設備とします。また、誰もが安全に利用できるように、施設全体のユニバーサルデザイン（年齢や能力にかかわらず誰もが使いやすい設計）やバリアフリー化を目指します。
イ	子どもたちの発達段階や体格差を考慮し、廊下や階段、トイレなどの衛生設備を含め、施設全体において使いやすさと安全性を備えた施設環境を確保します。
ウ	子どもたちの通学に関して、スクールバスの乗り降りや待機場所、自転車、徒歩での安全性を確保した設備に努めます。
(3) 地域や社会と連携・協働し、ともに学びを創造する共創空間の実現	
ア	地域との連携や地域からの活用を想定した施設設備および空間を確保します。（コミュニティ・スクール、PTA活動、地域学校協働活動、ボランティア活動などの共有スペース）
イ	給食センターとの一体化（隣接）：現時点では見送ります。
(4) 環境に配慮した設計	
再生可能エネルギーの利用やエネルギー効率を高める技術の活用を検討し、環境への負荷軽減に取り組みます。資源の有効活用や環境教育の推進などを通じて、持続可能な学習環境の実現を目指します。	

9 選定した建設候補地案、選定基準、協議の経緯

(1) 選定した建設候補地：「鎌沢案」



(2) 建設候補地の選定基準

ア 法令・基準の遵守（候補地の面積）

「小中学校の設置基準」、「義務教育諸学校の施設費の国庫負担金等に関する法律施行令」、「小・中学校施設整備費補助金（特定市町村公立小中学校規模適正化整備事業）交付要綱の運用細目」に則ります。（近年における類似施設の事例も参考にします。）

イ 安全性

風水害、雪害などの自然災害のリスクが低い場所であるか（地質・地盤を含む）。警察署、消防署、病院が近くにあるか。

ウ 教育環境

周辺に騒音や異臭の原因となるもの、工場施設などがなく、教育に適した環境であるか。教育上ふさわしくない娯楽施設や遊興施設など、不特定多数の人が出入りする施設がないか。周辺に体育施設や文化活動施設があり、教育活動が行いやすいか。

エ 利便性

徒歩や自転車通学時の安全性と利便性、および児童生徒の居住地域分布を考慮した適正性。スクールバス運行の利便性と、候補地による維持管理費用の違い。

オ 地域との近接性

住民が集まりやすい場所であるか（地域学校協働活動、コミュニティ活動、学校行事、地域住民の施設利用など）。より多くの住民の皆様から賛同を得やすい場所であるか。

カ 用地（取得、法令制限、ライフライン）および建設・運営コスト

- ・「用地」：必要な面積の用地取得が必要か（全部、一部、不要）。
- ・「用地の法令制限」：農地転用規制や埋蔵文化財関連の規制など。
- ・「ライフライン」：水道、下水道、ガスなどの整備状況。
- ・「良好な日照や景観」。

キ 村づくりの視点

- ・避難場所：災害時、徒歩での避難を想定した場合に、適した場所であると言えるか。
- ・将来性：学校が建設された場合、学校周辺の産業や地域活動の発展が見込めるか。

(3) 推進協議会などにおける学校制度・建設候補地案選定の経緯

（回＝統合推進協議会開催回数）

回	主な協議内容（開催日時）
1	・推進協議会の設置経緯、設置要綱、会長・副会長の選任、委員名公表、協議内容の発信・広報などについて協議。（2025年5月7日）
2	・小中一貫教育が必要とされる背景や、学校制度・形態について理解を深めました。（2025年5月27日）
3	・協議会として「川場村立川場学園（義務教育学校）」を視察。（2025年7月9日）

4	・昭和村の統合小中学校の学校制度として「義務教育学校案」を選定。(2025 年 7 月 31 日)
5	・学校制度としての義務教育学校案選定に関する地域説明会の準備協議。(2025 年 8 月 25 日)
	・義務教育学校案選定に関する地域説明会を実施。(2025 年 9 月 24 日～10 月 2 日、7 会場)
6	・説明会を総括し、改めて 推進協議会 として『 義務教育学校案 』を選定。義務教育学校の基本構想案(教育理念、教育課程の基本的な考え方(学年区切り)、全体構想、通学手段など)を協議。(2025 年 10 月 10 日)
	・総合教育会議にて、義務教育学校案の選定と大まかな基本構想案を説明。(2025 年 11 月 6 日)
7	・基本構想案に施設整備方針と建設候補地選定基準を盛り込み、建設候補地の選定協議を開始。(2025 年 11 月 18 日)
8	・委員の意見を総合的に踏まえ、6 候補地 9 案を選定。(2025 年 12 月 23 日)
9	・建設候補地案の現地視察を実施。(2026 年 1 月 17 日)
10	・昭和中学校の「洪水浸水想定区域」について理解を深め、総合運動公園の「農業振興地域制度・農用地区域からの除外」に関する理解促進を図った。(2026 年 1 月 27 日)
11	・県土整備部砂防課担当者からの説明により、洪水浸水想定区域について理解を深めた。(2026 年 2 月 22 日)
12	・候補地案ごとの建設費の予想試算、スクールバス運行費用の試算、候補地案評価シートの検討と評価。(2026 年 3 月 19 日)
13	・6 候補地 9 案の中から 4 候補地 6 案を選定。(2026 年 4 月 17 日)
	・区長会会議での説明と学校区での地域説明会を実施(選定状況の中間報告、建設候補地案選定のスケジュール説明)。(2026 年 5 月 12 日～5 月 19 日)
14	・地域説明会での質疑や要望を踏まえ、建設候補地案の絞り込みを協議(3 候補地案を選定)。(2026 年 5 月 29 日)
15	・推進協議会として、『 鎌沢候補地 』を学校建設候補地として選定。(2026 年 6 月 1 日)
16	・区長会議での説明と地域説明会で使用する資料の検討を行いました(「 鎌沢候補地案 」のコンパクト化修正案の協議、開校予定年度を 2031 年度(令和 13 年度)から 2032 年度(令和 14 年度)4 月への修正を含む)。(2026 年 6 月 29 日)
	・区長会議での説明と学校区での地域説明会を実施(『 鎌沢候補地案 』選定の経緯・理由、2032 年度(令和 14 年度)への開校変更、最終決定までの流れ)。(2026 年 7 月 3 日～7 月 10 日)
17	・説明会を総括し、改めて 推進協議会 として、 基本構想案の建設候補地を「鎌沢案(コンパクト修正案)」に選定 。基本構想案の詳細検討も行いました。(2026 年 7 月 24 日)
18	・議会への上程に向けた、基本構想案の最終確認と協議。(2026 年 8 月 17 日)

10 概算工事費

(1) 建設事業費の試算

現時点での概算工事費は、約 79 億円程度を見込んでいます。この試算には、校舎や体育館をはじめ、校庭付属棟工事、敷地造成工事、外構工事などの費用が含まれています。また、周辺のインフラ整備費、調査設計費、土地購入費などの付帯費用も含まれています。工事費の試算にあたっては、最近の資材費、人件費、諸経費の状況を考慮し、現時点で想定できる金額（13.9%の上昇を想定）で算出しています。なお、詳細な工事費については、設計段階で改めて詳しく検討する予定です。その際、資材価格や人件費の上昇など、近年の市場の変動状況により、概算工事費が変動する可能性があります。今後、必要に応じて費用削減方法などの検討を行い、適切な対応を進めてまいります。

(2) 財源の検討（学校建設の費用をまかなう方法）

新しい学校の整備にあたり、国からの負担金や交付金、地方債など、活用できる可能性のある財源について以下のように整理しました。これらの財源を有効活用し、村の財政負担を軽減できるよう努めます。

負担金・交付金
《公立学校施設整備費負担金》 ・公立の小学校、中学校、義務教育学校などの校舎、屋内運動場、体育館などを新築または増築する際に、その費用の一部を国が負担します。補助率は 1/2（この補助率は負担基準額に対する割合であり、事業費全体に対する割合ではありません。）です。
《学校施設環境改善交付金》 ・グラウンドなどの屋外教育環境、屋内運動場（体育館）の空調設備、太陽光発電などの整備にかかる費用の一部を国が補助します。補助率は 1/3 から 1/2（事業ごとに異なります。また、この補助率は交付基準額に対する割合であり、事業費全体に対する割合ではありません。）です。
地 方 債
《学校教育施設等整備事業債》 ・公立の小学校、中学校、義務教育学校などの整備事業や、新設に伴って新たに取得する土地の費用、造成費などが対象となります。対象経費に対する借入可能な割合は 75%または 90%（一部が国の地方交付税措置の対象となります。）です。
《公共施設等適正管理推進事業債》 ・個別の施設計画に基づいて行われ、全体として施設の延床面積が減少するような集約化・複合化事業が対象となります。対象経費に対する借入可能な割合は 90%（国の地方交付税措置の対象となります。）です。
基 金
《学校校舎建設基金》 ・学校の大規模改修や建設等の大規模な支出に備え、「学校校舎建築基金」を積み立てています。令和 7 年度末の現在高は 20 億 2,700 万円となっています。

昭和村義務教育学校 整備計画に伴うスケジュール 開校年度：令和14年度

2026年度・R 8 年度													2027年度・R 9 年度													2028年度・R10年度													2029年度・R11年度													2030年度・R12年度													2031年度・R13年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10